

考えよう！情報安全・情報モラル

その2：個人情報の利用について（第1部）

個人情報とは何なのか、情報社会の中でどのように扱わなければいけないのか。その人につながる大切な情報であり、管理を誤ると悪用される危険性があります。個人情報については2部構成で考えていきますので、正しく管理できるようになりましょう。

個人情報とは

個人情報とは、特定の個人を識別することができるものをいいます。

たとえば、氏名、住所等はそれだけで個人を特定することができる情報であり、「〇〇高校の〇〇クラスの出席番号〇〇の人」のように複数で個人を特定することができる情報も個人情報です。

個人情報、または組み合わせによって個人情報となるものには下記のようなものが考えられます。

- ・氏名 ・電話番号 ・住民票コード ・クレジット番号 ・住所 ・本籍
- ・生年月日 ・学校名 ・学年 ・クラス ・出席番号 ・SNSのIDなど
- ・メールアドレス ・写真 など

インターネット等で使用されるSNSのIDなども個人の特定につながる情報となる場合があります。

どの情報も個人を特定することができる重要な情報のため、取扱いには十分注意するようにしましょう。

情報社会での個人情報

インターネットで個人情報を扱う場面は少なくありません。そこに個人の特定につながるような情報を載せることが本当に必要であるか、使う場所、場面、理由等をしっかり考えることが重要です。

【個人情報の入力が必要】

- インターネットゲームなどの利用登録
- オークションサイトの購入申込み など

「個人情報が公開されないかどうか」「どんな目的で利用されるのか」など、個人情報の扱いがどうなっているかを利用規約等で必ず確かめてください。登録する場合は、必ず保護者に相談し、一緒に入力するようにしましょう。

【個人情報の入力が必要】

- 個人情報の入力が必要とされていないSNSなどへの書き込み
- 個人情報になりうるような写真をブログなどに掲載 など

安易に個人情報を入力すると、思いもよらない使われ方をするかもしれません。悪用されると、トラブルや犯罪に巻き込まれる危険性がありますので、自分の情報は自分で守れるようになりましょう。

個人情報の間違った利用

【被害者になる】

- SNSのプロフィールに学校名と顔写真を掲載した。

何がいけなかったのか？

インターネットのサイトは誰が見ているかわからないので、個人情報を掲載してはいけません。悪意をもった人に個人を特定され危険な目に会う可能性があります。

- ID交換掲示板に SNS のID を掲載した。

何がいけなかったのか？

SNS のID も個人の特定につながる場合があるので、知らない人に教えてはいけません。悪意を持った人に騙されたり、トラブルに巻き込まれる危険性があります。



【加害者になる】

- 友達のあだ名、学校名、クラス、趣味などを掲示板に書き込んだ。

何がいけなかったのか？

氏名がなくても個人が特定できれば、それは個人情報です。友達など、他者の情報も公開してはいけません。この情報を悪用されて友達が被害に会う可能性もあり、更に、公開したことで責任を問われるかもしれません。

個人情報や個人の特定につながる可能性のある情報は、自分も他者の情報も絶対に他人に教えたり、公開してはいけません。

考えてみましょう

■ 情報社会での個人情報利用について、みなさんで考えてみましょう。

① 個人情報とはなんですか？

② どんなものが個人情報になるか、考えてみましょう。

■ 何がいけないのか考えてみましょう。

① ID交換掲示板に友だちのIDを公開した。

② ネットで知り合った人に無料通話アプリを利用して名前と写真を渡した。

③ 個人情報の扱いに関する規約がないサイトに名前、住所などを登録した。

